

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2014-37644(P2014-37644A)

【公開日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-011

【出願番号】特願2012-180299(P2012-180299)

【国際特許分類】

D 0 1 F 8/14 (2006.01)

D 0 4 H 1/541 (2012.01)

D 0 4 H 1/435 (2012.01)

【F I】

D 0 1 F 8/14 B

D 0 4 H 1/541

D 0 4 H 1/435

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月7日(2015.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湿式不織布に用いられるショートカット纖維であり、該纖維は機械捲縮が付与されてなく、粘度の異なる2種のポリエチレンテレフタレートによって構成された芯鞘複合型の断面形状を有し、芯部に高粘度ポリエチレンテレフタレート、鞘部に低粘度ポリエチレンテレフタレートが配され、高粘度ポリエチレンテレフタレートと低粘度ポリエチレンテレフタレートの極限粘度差が0.05~0.13であり、芯部と鞘部の複合比率が20:80~80:20であることを特徴とする湿式不織布用ショートカット纖維。

【請求項2】

ショートカット纖維の強度が3~8cN/dtex、伸度が25~100%であることを特徴とする請求項1記載の湿式不織布用ショートカット纖維。

【請求項3】

請求項1または2記載の湿式不織布用ショートカット纖維によって構成される湿式不織布。

【請求項4】

請求項1または2記載の湿式不織布用ショートカット纖維を用いて、湿式抄造後、熱と圧力を付与することにより纖維同士を一体化することを特徴とする湿式不織布の製造方法。